

令和6年度 第4回井田川小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日時 令和 7年 1月22日(水)15:00 ~ 16:00

2 場所 井田川小学校 多目的室

3 あいさつ

(1)委員長より

- ・「つかれた」という子どもの声が心配。
- ・関係者評価については、活発な話し合いをお願いします。

(2)学校長より

- ・関係者評価については、外からの視点を入れてほしい。学習面や健康面など。

4 熟議内容

①学校関係者評価 各担当より取組の報告

学力向上(岡部):学力の定着、メディアとの付き合い方、家庭学習の大切さ、図書館整備

ICT 活用(尾崎):児童が考えたことを発信しやすいツール、90%以上が「よい」

特別支援教育(不登校対策)(平野):SC とも連携している。

地域連携(管理職):地域のサポートが素晴らしい。

支援体制(山中):言葉遣いの大切さ、些細な変化を大切にとらえる体制

・委員より

単学級だからこそその仲間づくりを。

不登校の子へのアプローチの改善はできるか。

家庭の学習習慣に差がある。

「働いている」を「子育ての言い訳」にしてはいけない。

②令和 7 年度土曜日の教育活動について

・土曜学習(マイタウン井田川まちづくり委員会主催)

R7 は 7 月 12 日、12 月 13 日の 2 回(第 2 土曜日)

「森と緑」をテーマに。

5 教育委員会より(加藤先生)

関係者評価の熟議で各担当が説明してくれてよかった。

各担当と委員とのやり取りができたならよかった。

読書は「76 冊」は素晴らしい。井田川の子はよく読んでいる。図書館環境もよい。

ICT はバージョンアップされている。授業参観の際、ぜひ見てほしい。

不登校対策については、学校と専門機関とが連携して取り組んでいる。

地域連携は井田川のウリ。負担にしないために、現状維持でよい。よりよくなるように。

組織的な支援体制は、一人で抱え込まないように、安心して学び合えるような取り組みを。